

災害フォーラム

「地震と台風・竜巻，どっちが怖い—どこが違う，建物の備え」

開催趣旨

九州では，福岡県西方沖地震による被害を経験して，地震災害対策に関する市民の関心が高まっていますが，一方で，台風や竜巻による被害が頻発している最近の状況から，地震と台風・竜巻による被害双方の実状と対策に関する市民フォーラム開催の要望があります。特に日向灘や別府—島原地溝帯付近で頻発する地震を経験するとともに，九州に上陸する台風による風水害や竜巻被害を経験している大分県では市民の防災意識が高まっています。本フォーラムは，地震と台風・竜巻による被害と備えを同時に解説し，地域防災力のさらなる向上へつながることを目指して，日本建築学会災害委員会，日本建築学会九州支部および日本風工学会の共催で開催するものです。

開催日時：2010年10月15日（金）13:30～16:30

場 所：大分文化会館第一小ホール（大分県大分市荷揚町4-1）

対 象：一般市民および行政機関の防災担当者

参加費用：無料，150名程度（先着順・事前申込必要）

主 催：日本建築学会九州支部，日本風工学会，日本建築学会災害委員会

— プログラム —

趣旨説明

九州大学教授 前田潤滋

第一部 講演

「木造住宅の地震被害と耐震補強のすすめ」

大分大学教授 井上正文

「建物やブロック塀の地震被害と備え」

大分大学教授 菊池健児

「建物の強風被害について」

京都大学准教授 丸山 敬

「自治体の地震対策と強風対策の比較」

摂南大学准教授 池内淳子

「大分県の災害事例と防災施策」

大分県生活環境部防災危機管理課

第二部 意見交換

申込方法：E-mail または FAX にて「氏名・勤務先・電話番号・E-mail アドレス」を明記の上，10月8日（金）までにお申し込み下さい。

問合せ・申込み：

九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門

友清衣利子（九州大学大学院人間環境学研究院助教）

E-mail : tomokiyo@arch.kyushu-u.ac.jp

Tel : 092-642-3367 / Fax: 092-642-4394